

クラス番号	328	担当教員名	山崎 康一郎
		他専修学生受入上限人数	2名
テーマ	自分と相手を深く知って、「よりそう」支援を実践できるようになる		

## ゼミナール概要

**キーワード：**心理的ケア、子ども虐待、心理治療的な生活支援、社会的養護における心理療法、障害児の療育

☆人と社会をより深く理解し、新しい価値を創造できるような多様な視点を持って、支援現場の高度なニーズに応え、「よりそう」という思いを実現できる実践力を高めてほしいと思います。

☆心理は道具なので、カウンセリング、セラピーの視点やスキルを用いて、理解と支援の力を高めましょう。

**【教員の関心事項】** 福祉領域における心理的ケアに関心があります。

①**臨床心理：**児童養護施設、福祉型障害児入所施設などにおける、被虐待経験のある子どもへの心理治療的な生活支援（治療的養育・環境療法）やトラウマへの対応、アタッチメント形成の支援

児童養護施設で、よい人間関係づくりのプログラム（境界線、認知行動療法）を開発・実施中です。

②**障害児心理：**障害のある子どもや家族の心理的困難への応用行動分析（ABA）、SST、PEERS による支援。

③**犯罪心理：**犯罪心理鑑定。非行・犯罪やトラウマへの心理プログラム（Good Way Model）を用いた支援。

<論文>「コンテインメントとバウンダリーによる家庭的養育における生活支援の分析—トラウマを抱えた児童との親密な関係性における生活支援の課題と対応—」『社会的養護研究』3 p72-78

<論文>「障害児入所施設における生活支援と心理的援助に関する支援者の意識—知的障がい児への心理的援助について—」『福祉心理学研究』12（1） p42-53

**【内容】** 自分自身や他者の思いを深く知り、よりそうための視点と方法を身につける。

★ゼミ生の主体性と学生同士の学び合いを大切にしています。また、子ども、障害のある方、その家族、支援者との出会いから、多くを学んでほしいと思っています。学生間の交流や現場での体験を行いたいと思います。

★虐待によるトラウマのケア、アタッチメント形成の支援、障害児や家族への支援ができるように、心理アセスメントやカウンセリング、セラピーを基にしたスキルを身につけていきましょう。トラウマのケアとして

TFT（Thought Field Therapy）、トラウマインフォームドケア、子育てや障害児への支援として家族面接、SST や ABA、ストレスへの対処としてマインドフルネス等のスキルを実践できるようにしたいと思います。

★支援スキルとして、希望者は TFT パートナー、SST ファーストレベルが修得できるようにサポートします。

★児童養護施設、障害児通所施設（放デイ）での見学・事例検討や少年鑑別所の見学を行います。

★他ゼミや、他大学のゼミ（少年法や心理学のゼミ）と交流、合同ゼミがあります。

**【卒業論文】**

論文作成を通して、一つずつ課題を解決する力を身につけてください。興味関心からテーマをみつけて、現場での支援や、アルバイト、子どもをはじめ様々な支援を必要とする方との出会いを通して深めていきます。根拠を示しながら、新しい発見や問題意識に対する解決策を提示します。SNS、自己肯定感、アタッチメント、アイドル、恋愛、不登校、リストカット、化粧、非行、ゲーム、アロマ、クレマーが人気のテーマです。



詳しくはこちら  
をどうぞ!!  
大学アカウント  
n-fukushi から  
見てください



謎とき  
ヒント

謎とき  
こたえ



### 担当教員からのメッセージ

私は大学3年生の時に保育士（保母）を取得し、児童福祉施設で勤務しました。被虐待経験や非行など困難な問題に直面し、支援力を高める必要に迫られ、仕事をしながら社会福祉士、臨床心理士を取得しました。支援を必要とする方によりそうには、学び続けること、様々なスキルを修得することが求められます。人に関心があり、様々な体験にひっかかりをもって、自ら、みて、聴いて、考えて、学んでいける姿勢があるといいですね。また、自分自身をふり返ったり、人とのかわわりを楽しんだり、開示ができると学びが深まるでしょう。▶遊びが子ども支援の基本です。遊べる大人になりましょう。◀